

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年4月13日
【四半期会計期間】	第23期第3四半期(自平成23年12月1日至平成24年2月29日)
【会社名】	株式会社 I G ポート
【英訳名】	IG Port, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石川 光久
【本店の所在の場所】	東京都武蔵野市中町二丁目1番9号
【電話番号】	0422 - 53 - 0257
【事務連絡者氏名】	管理担当執行役員 中野 広之
【最寄りの連絡場所】	東京都武蔵野市中町二丁目1番9号
【電話番号】	0422 - 53 - 0257
【事務連絡者氏名】	管理担当執行役員 中野 広之
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第3四半期連結 累計期間	第23期 第3四半期連結 累計期間	第22期
会計期間	自平成22年 6月1日 至平成23年 2月28日	自平成23年 6月1日 至平成24年 2月29日	自平成22年 6月1日 至平成23年 5月31日
売上高(千円)	3,467,492	3,504,470	5,282,024
経常利益又は経常損失()(千円)	91,623	78,650	150,082
四半期(当期)純利益又は四半期純損失()(千円)	210,391	96,154	326,643
四半期包括利益又は包括利益(千円)	210,527	95,991	326,689
純資産額(千円)	3,990,207	3,956,368	4,106,368
総資産額(千円)	6,154,952	6,078,015	6,169,393
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	4,406.30	2,013.79	6,840.98
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	64.8	65.1	66.6

回次	第22期 第3四半期連結 会計期間	第23期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 12月1日 至平成23年 2月28日	自平成23年 12月1日 至平成24年 2月29日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	3,647.34	2,153.69

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第22期第3四半期連結累計期間及び第22期は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第23期第3四半期連結累計期間は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
4. 第22期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高や電力供給不安、欧州での財政・金融問題等により先行き不透明な状況で推移しておりますが、東日本大震災後、復興需要を中心に一部の企業の生産活動の回復により緩やかに持ち直す動きも見られます。また、悪条件の下で企業の体質転換に向けて動き始めており、変化の兆しが見え始めてきました。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,504,470千円（前年同期比1.1%増）、経常損失は78,650千円（前年同期は91,623千円の経常利益）、四半期純損失は96,154千円（前年同期は210,391千円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「劇場版テニスの王子様 英国式庭球城決戦!」「劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ」、テレビ用アニメーション「ギルティクラウン」「BLOOD-C」「輪廻のラグランジェ」等、ビデオ用アニメーション、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は2,204,370千円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は26,599千円（前年同期比360.1%増）となりました。

出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックブレイド」「コミックアヴァルス」、コミックス「flat」「僕と彼女の×××」等、定期月刊誌18点並びに新刊コミックス101点を刊行しました。また、既刊の「にがくてあまい」「flat」は、特に販売好調でありました。なお、ウェブ雑誌であるEDEN、Beat's及びケータイサイトで連載された作品のコミックスの刊行は17点となり、ケータイ配信を含む有料課金での電子配信を17作品追加しており、合計168作品となっています。

以上により、当事業の売上高は868,637千円（前年同期比1.3%増）、セグメント損失は46,032千円（前年同期は42,268千円のセグメント損失）となりました。

著作権事業

著作権事業におきましては、「攻殻機動隊S.A.C.シリーズ(主にSSS 3D)」「もしドラ～もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら～」「戦国BASARAシリーズ」「BLOODシリーズ」「テニスの王子様シリーズ」「ブレイク ブレイド」等の二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は343,489千円（前年同期比13.4%減）、セグメント利益は6,768千円（前年同期比96.4%減）となりました。

その他

その他の事業につきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、人気コンテンツである攻殻機動隊のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）ゲームや iPhone/iPod Touch 向けアプリ等により当事業の売上高は87,973千円（前年同期比22.6%増）となり、セグメント損失は758千円（前年同期は5,118千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ91,378千円減少し、6,078,015千円となりました。主な要因は仕掛品が533,061千円、前渡金が65,730千円増加し、一方、現金及び預金が497,037千円、受取手形及び売掛金が226,102千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ58,621千円増加して2,121,646千円となりました。主な要因は前受金が115,615千円、短期借入金が100,000千円増加し、一方、買掛金が62,468千円、長期借入金が29,997千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末に比べ150,000千円減少して3,956,368千円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,000
計	150,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年2月29日)	提出日現在発行数(株) (平成24年4月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	48,952	48,952	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制度は 採用しておりません。
計	48,952	48,952		

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年4月1日以降この四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行されたものは含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年12月1日～ 平成24年2月29日	-	48,952	-	701,400	-	1,872,615

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,204	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 47,748	47,748	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	48,952	-	-
総株主の議決権	-	47,748	-

【自己株式等】

平成24年2月29日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社 I G ポート	東京都武蔵野市中町二丁目1番9号	1,204	-	1,204	2.46
計	-	1,204	-	1,204	2.46

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年12月1日から平成24年2月29日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成24年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,712,370	1,215,332
受取手形及び売掛金	1,142,314	916,211
商品及び製品	77,458	84,965
仕掛品	439,951	973,012
貯蔵品	3,812	5,641
前渡金	123,270	189,000
繰延税金資産	21,397	12,916
その他	69,620	45,297
貸倒引当金	2,696	910
流動資産合計	3,587,498	3,441,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	882,728	831,087
土地	838,506	838,506
映像マスター（純額）	240,747	309,140
その他（純額）	67,317	45,935
有形固定資産合計	2,029,300	2,024,669
無形固定資産		
のれん	171,852	151,828
その他	14,666	14,856
無形固定資産合計	186,518	166,684
投資その他の資産		
投資有価証券	126,789	182,952
その他	268,857	291,610
貸倒引当金	29,571	29,371
投資その他の資産合計	366,076	445,191
固定資産合計	2,581,895	2,636,546
資産合計	6,169,393	6,078,015

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	603,936	541,468
短期借入金	300,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	165,824	155,566
未払法人税等	12,980	5,297
前受金	373,194	488,809
賞与引当金	3,072	5,769
役員賞与引当金	2,100	-
返品調整引当金	50,100	44,400
受注損失引当金	3,529	9,924
その他	150,260	111,512
流動負債合計	1,704,993	1,802,743
固定負債		
長期借入金	299,176	269,179
退職給付引当金	35,556	33,557
その他	23,299	16,167
固定負債合計	358,031	318,903
負債合計	2,063,025	2,121,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	701,400	701,400
資本剰余金	1,842,569	1,842,569
利益剰余金	1,635,550	1,485,386
自己株式	72,870	72,870
株主資本合計	4,106,649	3,956,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280	117
その他の包括利益累計額合計	280	117
純資産合計	4,106,368	3,956,368
負債純資産合計	6,169,393	6,078,015

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
売上高	3,467,492	3,504,470
売上原価	2,880,241	3,076,575
売上総利益	587,250	427,895
返品調整引当金繰入額	-	2,900
返品調整引当金戻入額	14,500	-
差引売上総利益	601,750	424,995
販売費及び一般管理費	527,033	502,740
営業利益又は営業損失()	74,716	77,745
営業外収益		
受取利息	1,331	572
受取賃貸料	26,064	25,597
その他	12,284	5,587
営業外収益合計	39,681	31,756
営業外費用		
支払利息	6,119	5,185
為替差損	926	366
賃貸収入原価	15,727	25,822
その他	1	1,287
営業外費用合計	22,774	32,661
経常利益又は経常損失()	91,623	78,650
特別利益		
貸倒引当金戻入額	138,188	-
保険差益	13,702	-
特別利益合計	151,891	-
特別損失		
固定資産売却損	326	2,336
固定資産除却損	57	2,348
事務所移転費用	7,261	3,700
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,158	-
特別損失合計	15,804	8,385
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	227,709	87,035
法人税、住民税及び事業税	7,790	6,405
法人税等調整額	9,527	2,712
法人税等合計	17,317	9,118
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	210,391	96,154
四半期純利益又は四半期純損失()	210,391	96,154

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	210,391	96,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	163
その他の包括利益合計	135	163
四半期包括利益	210,527	95,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,527	95,991
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
(1) 持分法適用の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、製作委員会1社は、四半期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。また、新たに出資した製作委員会2社を持分法の適用範囲に含めております。
(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更 第1四半期連結会計期間より、連結子会社のうち決算日が3月31日であった(株)ジーベック及び(株)マッグガーデンは、決算日を5月31日に変更しております。決算日変更に伴う平成23年4月1日から平成23年5月31日までの2ヶ月間の損益は、利益剰余金の増減として調整しております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
減価償却費 191,292 千円	減価償却費 312,941 千円
のれんの償却額 20,023 千円	のれんの償却額 20,023 千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,141,406	857,581	396,755	3,395,742	71,749	3,467,492
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,141,406	857,581	396,755	3,395,742	71,749	3,467,492
セグメント利益又は損失 ()	5,780	42,268	185,760	149,272	5,118	144,153

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	149,272
「その他」の区分の損失()	5,118
のれんの償却額	20,023
全社費用(注)	49,412
四半期連結損益計算書の営業利益	74,716

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売管理費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,204,370	868,637	343,489	3,416,497	87,973	3,504,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,204,370	868,637	343,489	3,416,497	87,973	3,504,470
セグメント利益又は損失 ()	26,599	46,032	6,768	12,664	758	13,423

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	12,664
「その他」の区分の損失()	758
のれんの償却額	20,023
全社費用(注)	44,298
四半期連結損益計算書の営業損失()	77,745

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売管理費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	4,406円30銭	2,013円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	210,391	96,154
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	210,391	96,154
普通株式の期中平均株式数(株)	47,748	47,748
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 4月11日

株式会社 I G ポート
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 瀬戸 卓 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森田 健司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社 I G ポートの平成23年6月1日から平成24年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年12月1日から平成24年2月29日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成24年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社 I G ポート及び連結子会社の平成24年2月29日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲には X B R L データ自体は含まれていません。